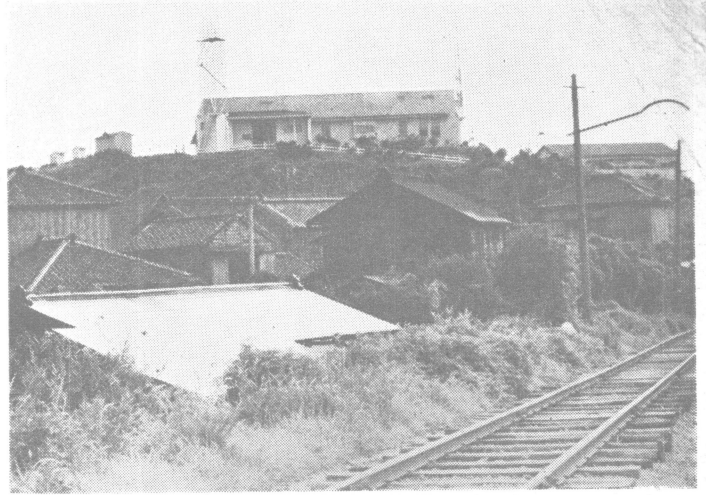


## 銚子測候所

銚子半島は本州東端に位置し利根川の河口にあたる。

この銚子半島の占める銚子市は人口8万9千で全国有数の魚港であると共に醤油の産地でもある。

秩父山塊と並んで関東最古の地質をもって構成され古くから人の住むところとなり石器時代よりの遺跡も多い。江戸時代に入り利根川の流路変更により江戸との水運が開け東北廻船の要港となった。その頃西日



1) 銚子測候所全景……東側の平地より



2) 銚子港全景、対岸は波崎町

最近市川・船橋地区に自動電話による予報サービスが開始され非常に好評を博している。

銚子は関東地方で最も風の強い地方の一つで年平均4.7米で房総沖は台風の経路にもあたり、関東地方に襲来をまぬかれたものでも銚子沖を通り20米を越す強風に見舞われ職員24名の苦勞も多い。

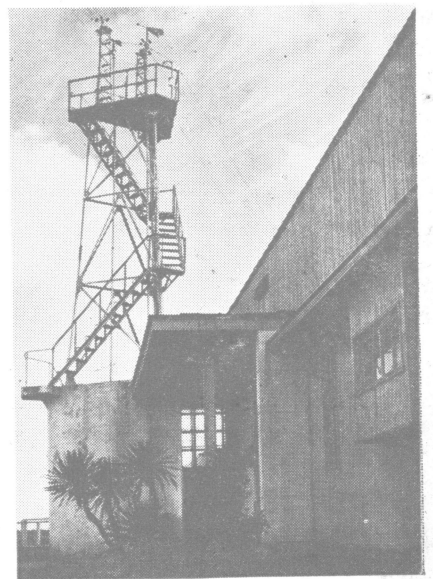
北東風はとくに卓越し蔵重研修所長の調査による「しかま天気」は銚子の天気の特徴である。

ともあれ犬吠崎をはじめ半島全般の変化に富む海岸美は写真に釣に海水浴に無限の楽しみを蔵している。(銚子測候所茨城高)

本特に紀州よりの来住者が漁業開発や醤油醸造に成功するに及び大発展をとげ今日に至った。これらの人達が川口の形が酒器の銚子に似ているところから銚子と呼んだのが今日の地名の起りとされている。

銚子港の所属魚船は大小590隻あり各地よりの廻船も多く朝夕河口の出入は壮観である。

半島のほぼ中央27米の台地上に銚子測候所があり、明治19年9月私立測候所として発足以来70年現在は府県予報区測候所として毎時観測官署として重要使命を果している。



3) 銚子測候所測風塔……玄関

◀ 写真は麻生 技官撮す ▶